

令和8年度

シラバス（普通教科）

～ 2 年 ～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

2年 普通教科

- 1 国 語
- 2 地歴公民
- 3 数 学
- 4 理 科
- 5 保健体育
- 6 外 国 語

<h1>言語文化</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科 生活情報科 第2学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
使用教科書・副教材等	教科書 「新編言語文化」大修館書店 補助教材 「漢字検定5級～2級+短文書写 実践文字力 トリプルチェック」

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学 期	文化を見つめる 「ほどほどのデザイン」 随筆を楽しむ 「枕草子」 詩歌の調べ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句への理解を深め、実際に使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文章の種類を踏まえて内容や構成、展開について叙述を基に的確に捉えている。 ・ 文語のきまりや古典特有の表現などを理解している。 ・ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え解釈している。 ・ 文語や訓読の決まり、詩歌の形式、古典特有の表現などを理解している。 ・ 体験や思いが伝わるよう構成、展開、描写、語句など表現のしかたを工夫している。 ・ 様々な作品に興味を持ち筆者の主張を読み取り、書かれている内容や筆者のものの見方、考え方、感じ方、情景や心情を味わいながら自分の考えを深めようとしている。 	
2 学 期	古人に学ぶ 「論語」 物語を受け継ぐ 「羅生門」 物語の広がり 「伊勢物語」 漢文を楽しむ 「完璧」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文語及び訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している ・ 内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、考え方、感じ方を深め、日本の言語文化について考えを深めている。 ・ 漢文に興味を持ち、作品と現代との関わりについて考えを深めようとしている。 ・ 読書の意義と効用への理解を深めている。 ・ 作品に表れたものの見方、感じ方、考え方について叙述を基に捉え解釈し、文章の構成や展開、表現の仕方や特色について評価している。 ・ 作品に興味を持ち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情、教訓的内容を読み取ろうとしている。 	
3 学 期	ことばと生きる 「祖母が笑うということ」 旅への思い 「土佐日記」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・ 文章の構成や展開、表現の仕方や特色を捉えている。 ・ 場面や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりして読もうとしている。 ・ 作品の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・ 作品に表れたものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を理解し、作品の背景や他の作品との関連性など内容の解釈を深めている。 ・ 文章の特徴や和歌の内容、人物の心情に興味を持って読み取ろうとしている。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 言語活動への取組
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を持つことができたか。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>地理総合</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第2学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	社会的事象の地理的見方・考え方を働かせて課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育てる。
使用教科書・副教材等	・教科書：『わたしたちの地理総合 改訂版』（山川出版社） ・副教材：『わたしたちの地理総合 改訂版 ワークブック』（山川出版社）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	地図とGISの活用 ・球面上の世界と地図の活用 ・国家間の結びつき	・地球儀やさまざまな図法の地図などから現代世界の姿を読み取る技能や地図・地理情報システムを利用する技能を身につけている。 ・世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の結び付き方、交通・通信・人の移動の特徴を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
2 学 期	生活文化の多様性と国際理解 ・自然環境と生活文化 ・多文化共生社会と生活文化 ・産業の発展と生活文化 ・グローバル化の進展と生活文化 地球的課題と国際協力 ・人口問題 ・食料問題 ・居住・都市問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題	・世界各地で見られる地形はどのように形成され、人々の生活とどのように関わっているかを理解している。 ・世界各地のさまざまな気候の特色や生活との関わりについて理解している。 ・産業の発展が人々の生活にどのような影響を与えてきたかを理解している。 ・移民とそれを受け入れてきた社会の活力が世界の人々に影響を与える文化や産業などを生み出してきたことについて理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
3 学 期	生活圏の諸課題 ・自然環境と防災 ・持続可能な地域づくり	・自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活の中にみられる防災・減災への取り組みを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術」）、「思考・判断・表現」,「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	・単元テストや定期考査 ・ノートの状況 ・発表の内容やしかた ・配布物の管理
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて考察し、効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	・課題やレポートの内容や提出状況
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究、解決しようとする態度を養うとともに世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとしている。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

<h1>数学 I</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 2 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 基礎・基本的な計算問題を繰り返し練習することによって、基礎的な計算の習得と技能の習熟を図る。 2 図形やグラフを学習することによって、事象を数学的に考察する能力を培う。 3 多くの練習問題を解くことによって、発展的な考え方ができる。
使用教科書・副教材等	高校数学 I (実教出版) 高校数学 I 専用スタディノート新課程版 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	3章 三角比 1節 三角比 2節 三角比の応用	三角形の基本的な性質、三平方の定理を理解し、それに関連した問題が解けるようになる。 直角三角形について2辺の比の関係(三角比)を理解する。それを利用して様々な問題が解けるようになる。三角比の相互関係を理解する。 鈍角の三角比の定義を座標平面上で行うことを理解する。 三角比を利用して三角形の面積を求めることができるようになる。	
2 学 期	3章 三角比 2節 三角比の応用 4章 集合と論証 1節 集合と論証	正弦定理を理解する。 余弦定理を理解する。 正弦定理や余弦定理を利用して、いろいろな距離を求めることができる。 いろいろな集合と要素について表し方や用語を学習する。 あることがらが正しいかどうかを判断するのに必要な考え方や用語について学習する。 命題の必要条件、十分条件を理解する。 対偶を利用した証明法、背理法を利用した証明法を理解する。	
3 学 期	5章 データの分析 1節 データの分析	データの種類にふさわしいグラフを描く。 目的に応じていろいろなデータを適切に整理できるようになる。 相対度数が理解できる。 データ全体の特徴を1つの値で表すことができる。 データの散らばりや2つのデータの相互関係を調べられる。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 授業へ出席し、真剣に説明を聞き、板書内容をきちんと記録することができたか。 課題や提出物を期限内に提出できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言や板書や学習態度 定期考査 提出物の内容や提出状況 課題問題 授業態度 プリントや問題集のとりくみ状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 定義や例題がきちんと理解できたか。 問題を解くとき、適切な公式が活用できたか。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、学習内容の説明を聞き、それに関する発言や質問を積極的にすることができたか。 学習内容の定着のため、復習を中心に充実した家庭学習を行ったか。 	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

<h1>生物基礎</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第2学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	・生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書・副教材等	・教科書 高校生物基礎 visual (実教出版) ・副教材 高校生物基礎 カラーノート 改訂版 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	学習のねらい	備考
1 学 期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー	・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質合成	・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解する。 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート
2 学 期	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫	・動物が体内環境をもち、外界からの影響を適切に調節していることを理解する。 ・体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解する。 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート
	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	・生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解する。 ・気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解する。 ・生態系における生物の種多様性について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査 ・実験レポート

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」(職業に関する各教科については「知識・技術」)、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	・ 課題やレポートの内容や提出状況
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>保健</h1>	単 位	1 単位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第2 学年

1 学習到達目標等	
学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。
使用教科書・副教材等	現代保健体育（大修館 保体 701）現代高等保健体育ノート（大修館 保体 701）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	<p>オリエンテーション ライフステージと健康</p> <p>思春期と健康</p> <p>性意識と性行動の選択</p> <p>妊娠・出産と健康</p> <p>避妊法と人工妊娠中絶</p> <p>結婚生活と健康</p> <p>中高年期と健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連や、社会からの支援について例を挙げて説明できる。 ・思春期における体の変化を男女に分け、心の発達にかかわる問題について例を挙げて説明できる。 ・性意識の男女差や性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例を挙げて説明できる。 ・妊娠・出産の健康課題やその時期に活用できる母子保健サービスの例を挙げて説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法や人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 ・心身の発達と健康生活の関係や結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を挙げて説明できる。 ・加齢にともなう心身の変化や高齢社会に必要な社会的な取組について例を挙げて説明できる。 	
2 学 期	<p>働くことと健康</p> <p>労働災害と健康</p> <p>健康的な職業生活</p> <p>大気汚染と健康</p> <p>水質汚濁、土壌汚染と健康</p> <p>環境と健康にかかわる対策</p> <p>ごみの処理と上下水道の整備</p> <p>食品の安全性</p> <p>食品衛生にかかわる活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義と健康とのかかわりと働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・労働災害の種類とその原因や労働災害を防止するために必要なことを説明できる。 ・職場がおこなう健康に関する取組や余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 ・大気汚染の原因と健康への影響や地球規模の健康問題について例を挙げて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因と健康影響やそれらにかかわる複合的な環境汚染の発生について説明できる。 ・環境汚染による健康被害予防法や産業廃棄物の処理について説明できる ・ごみ処理の現状やその課題と上下水道のしくみと健康にかかわる課題について説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりや今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割と個人の役割について説明できる。 	
3 学 期	<p>保健サービスとその活用</p> <p>医療サービスとその活用</p> <p>医薬品の制度とその活用</p> <p>さまざまな保健活動や社会的対策</p> <p>健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割や保健サービス活用の例について例を挙げて説明できる。 ・わが国における医療保険のしくみやさまざまな医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい使用法や安全性を守る取組について例を挙げて説明できる。 ・国際機関・民間機関などの保健活動や行政機関による社会的対策について例を挙げて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりや主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・個人及び社会生活における健康・安全について理解しているか。・健康・安全についての技能が身に付いているか。	<ul style="list-style-type: none">・確認テスト・実技・授業ノート・話し合い活動等・提出物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・健康についての課題を発見し、解決に向けて思考・判断しているか。・自己や仲間の考えを他者に伝える力があるか。	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・授業に意欲的に取り組み、ノートをとっているか。・期限内に提出物を出しているか。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>体育</h1>	単 位	3単位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第2学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、身体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて計画的に運動ができる資質や能力を習得する。
使用教科書・副教材等	現代高等保健体育（大修館）・アクティブスポーツ（大修館）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	体づくり運動 体ほぐしの運動 選択Ⅰ(球技) バレーボール バドミントン ソフトボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うこと。 ・バレーボールとバドミントンでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作、状況に応じた守備などによって攻防を展開できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1 技能と体力の関係やそれら高めるときに気をつけるべき点を挙げて説明できる。 2 技能の型の違いや各種の練習の仕方と用具の改良やメディアの発達などによる技術・戦術・ルールの変化を説明できる。 	
2 学 期	陸上競技 体づくり運動 実生活に生かす運動の計画 選択Ⅱ バスケットボール ソフトボール テニス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むこと。 ・バスケットボールでは、安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開できる。 ・テニスでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 <ol style="list-style-type: none"> 3 技能がどのようなステップを経て上達するかと練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかを挙げて説明できる。 	
3 学 期	選択Ⅲ サッカー バドミントン テニス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーでは、安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携したうごきによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・バドミントンとテニスでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 <ol style="list-style-type: none"> 4 体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのかとよい動きを支える調整力について例を挙げて説明できる。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・運動の多様性や体力の必要性について理解しているか。・運動の技能が身に付いているか。	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート・実技テスト・話し合い活動・レポート・授業態度
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・課題を発見し、解決に向けて思考・判断しているか。・自己や仲間の考えたことを他者に伝えられているか。	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・準備、片付け等仲間と協力して行っているか。・健康・安全を確保しているか。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

英語コミュニケーション I	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第 2 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1. 中学校の英語学習を踏まえ、高校の英語学習の基礎を培う。 2. 言語活動において、得た情報や相手の考えを的確に理解する。 3. 言語活動において、伝えたい情報や考えを適切に相手に伝える。
使用教科書・副教材等	・教科書：VISTA English Communication I (三省堂) ・副教材：Prep English プレップイングリッシュ [改訂版] (旺文社)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学期	・ LESSON 5 We Are Part of Nature ・ LESSON 6 Machu Picchu	・不定詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 また、ネコ、職業、自然について自分の考えを話して伝え合う技能を身に付けている。 ・現在完了形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。また、マチュ・ピチュ、野菜について、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	夏季課題 プレップイングリッシュ
2 学期	・ LESSON 7 Artificial Intelligence ・ LESSON 8 Is there a Santa Claus?	・受け身について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。また、ロボットやペット等について主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。 ・関係代名詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。また、サンタクロース、信念、人物等について主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。	冬季課題 プレップイングリッシュ
3 学期	・ Lesson 9 Kid's Guernica	・分詞、関係副詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。また、ゲルニカや絵を描くことについて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	春季課題 プレップイングリッシュ

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」（職業に関する各教科については「知識・技術）」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能 知識・技術	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けている。また、その背景にある文化などを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしきたり ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 言語活動の取組状況
思考・判断・表現	日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解している。また、日常的な話題について、情報や考えなど自分の伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現することができている。	
主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。また、誤りを恐れずに、英語を使おうとしている。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

